

パルコ2015年AWシーズン広告公開。 2014AW-2015SSに続き、クリエイティブは「M/M (Paris)」(エムエムパリス)。

株式会社パルコ(本社:東京都渋谷区、以下パルコ)は、2015年AW広告を公開します。

2014AW-2015SSに続き、フランスのクリエイティブユニット「M/M(Paris)」(エムエムパリス)、フォトグラファー Viviane Sassen(ヴィヴィアン・サッセン)を継続起用。モデルは新たに、Anna Cleveland(アナ・クリーブランド)、スタイリストにBenjamin Bruno(ベンジャミン・ブルーノ)を起用し、2015年6月、オランダ内陸の砂丘地帯で撮影を行いました。

前シーズン(2014AW-2015SS)は、「Lily, from Solstice to Solstice」と題し、モデルのLilyとフェイスオブジェ、ゴールデンヘッドが美しく絡み合いながら、「至」というテーマで、一年間という時間の継続性を表し、四季の移り変わりを追うというコンセプトで、ファッションの永続性を表現しました。

今シーズン(2015AW-2015SS)は、前回のコンセプトを踏襲しながら、「月」というテーマの設定で、トランプの4種の柄(ダイヤ・スペード・ハート・クラブ)をモチーフにしたカイト(凧)と、モデルAnna、そしてAnnaの影の存在スーアクターが複雑に絡み合いながら、四季の変遷とファッションの永続性を表現しています。

★2015AWはダイヤ&スペード。連作となる2016年SSはハート&クラブとなります。

「PARCO 2015 AW」 <http://parco.jp/style/>

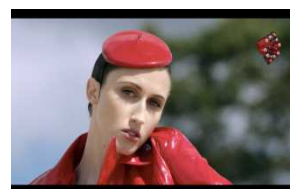
★ポスター・CF・M/M(Paris)コメント等がご覧いただけます。

【ポスター】 B1縦、B3横:各2種 ★掲出期間:2015/7/21(火)~2016/1/20(水)



【CF】 15秒、30秒、60秒 ★TVでのON AIRは9月を予定
◇WEBでご覧頂けます → http://parco.jp/style/cm_poster/

(C)2015 PARCO CO.,LTD.



【 本件に関するお問合せ 】

株式会社パルコ メディアコミュニケーション部 藤井 fuji-hiro@parco.jp 小野 ono-iun@parco.jp

TEL:03-3477-5781 / FAX:03-5489-7481

【CONCEPT】

自然が創り出す時間の変化を告げる4つの季節。

その変化を月のリズムにあわせてチャームングに描くのは、
トランプの4つのマーク、そして4つの季節のクイーンとして存在する、アナ。

生命力とエネルギーに満ちあふれたアナと、4つのマークを運ぶ彼女の影が、
ファンタジーで、リアルな、パルコのパッション世界を描いていく。

the Queen of Diamonds,
the Queen of Spades,
the Queen of Hearts,
the Queen of Clubs.

Anna, from Moon Phases to Moon Faces.

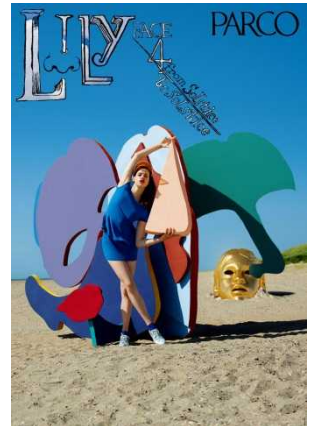
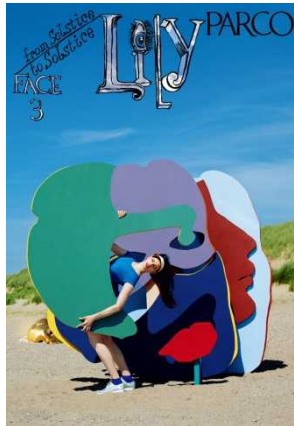
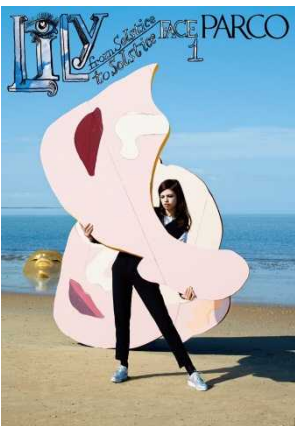
【制作スタッフ】

クリエイティブディレクター、グラフィックデザイナー: Mathias Aygustyniak、Michael Amzalang (M/M Paris)
フォトグラファー: Viviane Sassen
キャスト: Anna Cleveland
スタイリスト: Benjamin Bruno
ヘアメイク: Irena Ruben
ダンサー: Majon van der Schot
セットデザイナー: Frank Visser
映像プロデューサー: Juliette Lambert
ミュージック(CF): Ricardo Tobar
企画制作: Yukari Ohyama、Akira Takamiya (RCKT/Rocket Company*)、PARCO

【2014AW - 2015SS】ARCHIVE (POSTER & CM)

右記サイトでご覧いただけます → <http://parco.jp/style/archive/>

■ポスター(B1縦・B3横)



■CF(15・30・60秒)



【M/M(Paris)からのコメント】

the Queen of Diamonds,
the Queen of Spades,
the Queen of Hearts,
the Queen of Clubs.

Anna, from Moon Phases to Moon Faces.

ファッションウィークというイベントが持つ重要さの度合いは、都市によって異なります。東京のファッションウィークは、パリやミラノ、ニューヨーク、ロンドンに比べ、さほど注目されていないかも知れません。にもかかわらず、東京はファッションにとっても敏感な都市であり、ファッション業界でも極めて大きな存在感を放っています。東京のストリートは、あたかも年中ファッションウィークのようであり、流行の震源地となっているようにも思います。ファッションをコンテンポラリーな文化として築いてきた歴史が日本にはあり、世界的な影響力を持つ日本人ファッションデザイナーが数多くいることも、なんら不思議ではありません。

そして日本は、クリエイティブ性だけでなく、販売面に関しても世界の最先端を走っていると思います。それは、昨年から手掛けたバルコのキャンペーン広告について私たちが語る際、バルコがファッションビルとして革新的なモデルであると言い続けてきたことにも繋がります。バルコは、ひとつの場所にさまざまな種類のファッションを集約させることで、これまでになく拡大・多様化しつつあるファッション愛好者たちを引き寄せることに成功しました。まさに、バルコは「ミニチュアファッション都市」と言えるでしょう。また、バルコは特にファッションカルチャーに造詣が深く、その歴代の広告には秀逸なグラフィックアーティストを起用し続けてきました。

そんななか、昨年、私たちがバルコの広告を作るうえで最初に考えたのは、季節という自然が創りだすリズムにあわせて人々が生活しているように、季節を通じて人々が集まる特別な場所としてバルコが存在しているということ伝えることでした。そこで、生命力に満ち溢れたリリーをキャスティングし、彼女はそれを超える生命力で、1年間を通して多くの人々にキャンペーンのコンセプトを伝えてくれました。リリーは若くてフレッシュな女性であるだけでなく、ファッションの歴史にも大きく関係しています。彼女の母親クリステン・マクメナミーは、かつての、そして現在においてもファッション界の重要人物であり、リリー自身がファッションの過去、現在、未来を表す象徴でもあります。私たちは至点のリズムで季節を追った4種のポスターを作ることで、リリーの超自然的なキャラクターを強調しました。さらには、リリーの12ヶ月を表現した、繰り返し使えるカレンダーもデザインしました。

そして今回、バルコが描くファッション界のなかで、まったく新しい過去、現在、未来を象徴するキャラクターとして、アナという女性を登場させました。アナもまた、生命力とエネルギーに満ち溢れた、ファッションの歴史に大きく関わる存在です。アナの母親パット・クリーヴランドは、ゆで卵を食べるフェイ・ダナウェイにも匹敵する、ファッション業界のアイコンでした。前シリーズのリリーは季節の変化を至点から至点で表現し、今回のアナは季節の変化を月のリズムで体現したのです。

また私たちは、月の位相とトランプの記号(マーク)の間に、暗号化された相関関係があることに気づきました。ダイヤ、スペード、ハート、クラブのマークは月の位相、つまりは季節のリズム、ダイヤは秋、スペードは冬、ハートは春、クラブは夏を示しています。そこで私たちは、アナを各マークのクイーン(女王)、ひいては各季節のクイーンに見立てることにしました。

そして、ヴィジュアル的な側面でのクリエイションとして、前回と同じように彫刻的なポージングをアナにとってもらい、さらにそれをより強調させるために、彼女自身の等身大の影を作成しました。また、前回と同じアーティストに特大の風を製作してもらい、アナの影にそれを持たせました。

さらに、この広告をファッション的な側面でも進化させるべく、世界中からのオファーが絶えない新進気鋭なスタイリスト、ベンジャミン・ブルーノにスタイリングを依頼し、ファッションの鋭敏性も表現。それによって、アナがダイヤ、スペード、ハート、クラブを通してチャーミングに、ナチュラルに、そしてエレガントに季節の変容を演じ分けることができました。

また、ファンタジーでありながらもリアルにこの世界感をヴィジュアル化するため、今回も写真家のヴィヴィアン・サッセンに撮影を依頼しました。彼女は、明るい日光と、それが生み出す強い影のコントラストを巧みに操ることで、私たちが継続的にバルコに提案している季節的なコンセプトを、完璧にヴィジュアル化してくれました。

今回の私たちの提案は、前回とどこか類似性のあるものに見えるかもしれませんが。友達のような親近感を覚えるかもしれません。しかし不思議なことに、長く見れば見るほど良い部分が見え始め、実際にはまったく違うものであることに気づいていただけるはず。継続性と一貫性は、激動するファッション界において成功の秘訣の一つとも言えます。

最後に、今回もバルコのヴィジュアル表現の構築、ひいては美しく意義深いイメージを通じた日本のヴィジュアルランドスケープ(視覚風景)作りに参加させていただけたことに感謝します。

2015年7月 M/M (Paris)

過去の来日時のインタビュー

[honeyee.com]:2014/10/8 http://www.honeyee.com/feature/2014/mm_paris/

[fashionpost]:2015/4/9 <http://fashionpost.jp/posts/35867>

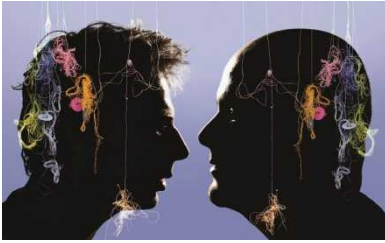
[GQ]:2015/4/6 <http://gqjapan.jp/life/art/20150406/m-m-paris>

[CINRA]:2015/4/15 <http://www.cinra.net/interview/201504-mm-paris-asaba>

[honeyee.com] 2015/4/15 http://www.honeyee.com/feature/2015/mm_paris_groovisions/

【プロフィール】

M/M (Paris) エムエムパリス



ミカエル アムザラグとマティアス オグスティニアックによって1992年に結成された、パリを拠点に活動するクリエイティブユニット。20年以上にわたりファッション、アート、音楽、デザインと多分野において活躍し、象徴的かつ影響力の強いデザイン&アートで世界中の人々を魅了させている。彼らの手掛ける多くの作品でオリジナルのタイポグラフィを用いられることがあり、表現方法の一つとしてタイポグラフィの重要性の高さが窺え、2003、2004、2012年度の東京TDC賞(タイポディレクターズクラブ)も受賞。また、ファッション、音楽関係の仕事が顕著で、これまでのコラボレーションワークとして、A.P.C.、Balenciaga、Calvin Klein、Dior Homme、Givenchy、Jil Sander、Loewe、Louis Vuitton、Missoni、Sonia Rykiel、Stella McCartney、Yohji Yamamoto、Yves Saint Laurentなどのビックメゾンやデザイナーが連なる。音楽の分野でも、2013年にグラミー賞の最優秀レコーディング・パッケージ賞を受賞したビョークの『Biophilia』を代表に、ヴァネッサ・パラディ、カニエ・ウェスト、マドンナといった著名アーティストのアルバムアートワークやミュージックビデオを手掛ける他、『Vogue Paris』、『Purple Fashion Magazine』、『Arena Homme+』、『Interview Magazine』などの雑誌のアートディレクションも手掛ける。また、2012年には、活動20周年記念として500ページを越える作品集を出版した。

Viviane Sassen ヴィヴィアン・サッセン



1972年、アムステルダム生まれ東アフリカ育ち。2002年に帰郷するまでアフリカで写真を撮り続けた後、現在はアムステルダムを拠点に活動。ユトレヒト芸術大学、アーネム王立芸術アカデミーにて写真とファッションデザインを学んだ後、ファッションフォトグラファーとして『i-D』、『Dazed & Confused』などの雑誌から、Miu Miu、Louis Vuitton、Carvenなどの広告キャンペーンの撮影で活躍する。2008年にアムステルダムのFoamにて個展を開催した後も多数の展覧会を行い、2012年にアムステルダムで開催した初の回顧展では高い評価を得た。また、毎年行われるニューヨーク現代美術館の写真展覧のうち、2011年の会期では、世界中から選ばれる6人のアーティストのうちの1人に選定された。2007年に「Prix de Rome」、2011年には「ICP・インフィニティ・アワード」のファッションフォトグラフィー部門を受賞。2007年『Flamboyant』(Contrasto)、2011年『Parasomnia』(Prestel)、2012年『Die Son Sien Alles』(Libraryman)、2013年『Etan&Me』(Odee)、2014年『Pikin Slee』(Prestel)、『UMBRA』(Odee)等の作品集を刊行。

Anna Cleveland アナ・クリーブランド



1991年、オランダ生まれ、イタリア育ち。1970年代から活躍するスーパーモデルであるPat Clevelandを母親に持つ。これまでに、Lanvin、BOTTEGA VENETAなどのファッションブランドのキャンペーン広告や、Marc Jacobs、Missoniなどのコレクションランウェイに出演。また、『Vogue Italia』、『Harper's Bazaar』などのファッション誌でも活躍中。

Benjamin Bruno ベンジャミン・ブルーノ



(C) Johan Sandberg

2005年より6年間、『Vogue Paris』にてファッションエディターとして活動した後、スタイリストとして独立。Alasdair McLellan、Paolo Roversi、Willy Vanderperre、Jamie Hawkesworthといったフォトグラファーと共に、『Vogue Paris』、『Vogue Italia』、『Self Service』、『Arena Homme+』、『i-D』、『032c』、『Interview』といった雑誌にて活躍。ロンドン発メンズファッション誌『Man About Town』では、当時のクリエイティブディレクターであったM/M (Paris)のもと、コントリビューティング・ファッションエディターを務める。近年では、ファッションデザイナーのJonathan Anderson、フォトグラファーのJamie Hawkesworth、そしてM/M (Paris)とのコラボレーションにより、J.W.AndersonやLOEWEのキャンペーンビジュアルやコレクションランウェイの仕事を手掛ける。Johan Sandberg